

横手市環境保全審議会議事録

日 時 平成21年3月25日(水)午前11時00分～12時00分

場 所 本庁南庁舎 講 堂

1、出席者

審議会委員

大 部 桂 (横手～学識経験者)
佐 川 君 子 (横手～学識経験者)
西 田 貞 夫 (平鹿～学識経験者)
佐々木 秀 智 (山内～学識経験者)
佐々木 巳和子 (横手～婦人代表)
高 山 久 子 (大森～婦人代表)
高 橋 梅 谷 (十文字～婦人代表)
内 田 昭 一 (増田～環境美化推進員等)
後 藤 正 (平鹿～環境美化推進員等)
佐々木 徹 (雄物川～環境美化推進員等)
久 米 靖 穂 (十文字～環境美化推進員等)
鶴 田 典 治 (横手～企業関係者)
阿 部 三 琅 (横手～弁護士)
菅 原 多一郎 (横手～青少年育成関係者)

以上14名

欠席された委員

猿 橋 晃 (横手～学識経験者)
大 庭 喜美子 (雄物川～婦人代表)
小松田 ち 糸 (大雄～婦人代表)
鎌 田 勲 一 (横手～環境美化推進員等)
柴 田 昭 (横手～企業関係者)
磯 部 京 悦 (横手～医師会)

以上6名

副市長 事務局

小 野 タツ子
佐々木 久 雄 (福祉環境部長)
菊 地 晴 男 (環境課長)
皆 川 規 和 (環境課主幹)
斎 藤 正 弘 (環境課環境政策担当チーフ)
眞 田 涉 (環境課環境政策担当主査)
菅 原 幸 広 (環境課環境政担当副主査)
栗 谷 淳 一 (環境課環境施設担当チーフ)
近 江 秀 和 (環境課環境施設担当副主査)

以上9名

(出席者合計人数2名)

2、開会

3、小野副市長あいさつ

本日は、大変ご苦勞さまです。また、日頃より行政に対しましてご協力を頂いていることにお礼申し上げます。春になり道路端には、不法投棄物（ごみ）が目立ってきております。モラルの向上に向けて行政として取組みの必要性を感じているこの頃です。

さて、ごみ処理統合施設を平成27年4月より稼動する計画ですが、平成20年度今現在の「用地選定業務」の内容を中間報告という形で委員の皆様にご報告させていただきます。この事業については、3月15日の広報で「ごみ処理統合施設整備の進捗状況について」とうことで市民の皆様にお知らせしております。午後からは、皆様大仙市の施設を視察することのようですが、用地が決定した後の施設建設に皆様の視察が意見として役立ていただければありがたいです。さらに、「公害の防止協定の改定について」という報告が1件あります。具体的な説明は、担当がご説明申し上げますが、皆様からの忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。本日は、よろしくご審議下さいますようお願いいたします。

4、会長あいさつ

委員の皆様、おはようございます。今日は、合同の審議会ですが審議案件として「横手市ごみ処理統合施設整備事業について」と「公害防止協定の改定について」の2件であります。午後からの研修視察の関係ですので、ご理解下さい。よろしく、ご審議くださるようお願いいたします。審議時間の関係もありますので、これで挨拶を終了します。

5、議事録署名委員の選任

（佐川会長より提案）

前回に続き、名簿順に内田昭一委員、後藤正委員、異議なしの声で承認。

6、協議

1) 横手市ごみ処理施設整備事業について（報告） 合同協議案件

～事務局担当より、資料に基づき用地選定2次選考の候補地絞込みについて説明。（栗谷）

質疑の概要

（委員）

用地選定の評価項目については、評価のおきかたについて重点の項目などはあるのでしょうか？

（回答）

この9項目について、重要度を3段階にして評価点に反映させていきたいと考えております。

（委員）

昨年大沢地区にこういう施設建設するという話があったが、その施設が変わってこの施設計画になったものなのか？

(回答)

今の質問ですが、これは、民間の企業が雄物川大沢地区に堆肥処理施設を作るということで、その計画と今回の施設計画とは別の計画です。

この大沢地区の施設建設計画は、木材チップ・下水道汚泥等を利用して堆肥を作る民間業者の施設計画でしたが、昨年6月に住民の反対があり計画を白紙徹底しております。今回のこの統合処理施設計画は、現在の3環境保全センターの老朽化によるもので、大沢地区の施設建設計画とは別のものです。

(委員)

1日の処理能力及び用地面積は、どれくらいか。最終的な用地選定は、どのように図られていくものなのか？

(回答)

処理能力等については、1日約100トンです。リサイクルセンターは、1日33トンです。用地面積については、3haを予定しております。2点目の最終選定についてですが、建設のための各部会・議会及び市長の判断をもって進めていく計画です。

(委員)

新しい施設ができれば、前の3処理施設はどうなるのか。また、新施設の建設費はどれくらいかかるものなのか教えていただきたい。

(回答)

現在の3施設は、老朽化していることもあり解体することで考えております。新施設は、総額で約100億円程度と考えております。その中には、用地費及び造成費等の費用も含まれております。

(会長)

他にも、ご意見がなければ次の案件にすすみますが、よろしいでしょうか？今後お気づきの点があれば、環境課の方へご質問等して下さるようお願い申し上げます。

それでは、次の案件「公害防止協定の改定について」(報告)についてご説明をお願いします。

1) 公害防止協定の改定について(報告) 単独協議案件

~事務局担当より、資料に基づき「公害防止協定の改定」の報告について説明。(真田)

質疑の概要

(会長)

ワイ・エー・ピーというメッキ工場について排出水の増量とありますが、なにか理由があるのですか？

(回答)

メッキした後にでる「重金属の混入した排水」の排水基準をクリアするために、希釈するため水を増量したものであります。

(委員)

排水の毒性を市でも確認しているのでしょうか？また、ボイラメーカーの測定だけで市独自の測定はしなかったのかお聞きしたい？

(回答)

ワイ・エー・ピーさんについては、会社側にお任せしております。処理するため、専用の重金属除去装置を設置しております。また、排水の安定化のため年間で維持費が800万円程度かけて処理しております。基準については、国の基準を大幅に上回る数値でクリアしております。毎月、測定データを横手市環境課でも頂いております。市でも、年2回測定分析しております。

ユニシアさんにつきましては、市として「ばい煙の測定」をやっておりません。大気汚染防止法で県へ報告する義務がありますので、保健所にばい煙測定結果の報告をしておと思っています。違反している場合は、保健所で指導していると思います。よって市では、測定しておりません。

(委員)

わかりました。ばい煙についても、市で独自にやるべきではないでしょうか。これ意見です。

(回答)

はい、わかりました。

(会長)

それでは、この協定を認めるということによろしいでしょうか？どうも大変ありがとうございます。これで、今日の協議を終了いたします。本日は、お忙しい中、誠にありがとうございました。

7、閉会

平成21年3月25日

議事録署名委員 内田 昭一

後藤 正